

親子でチェック！！ 調べる学習の ススメかた



問い合わせ先
茅野市こども読書活動
応援センター
TEL： 0266 - 75 - 1250
Email：
dokushoc@city.chino.lg.jp

「調べる学習ってどうやるの?」「テーマがきまらない!」「引用って?」
「ファイルにまとめるってどうするの?」・・・そんな「わからない!」
にお答えします!

チェック項目をたしかめながら、調べる学習を楽しもう!

それでも困ったときは、応援センターに連絡してね!

スタート編

- Q1 調べたいことは見つかりましたか? ☐
※ 身の周りのこと、地域のこと、学習の続き…
知りたい気持ち・確かめたい気持ちが大事だよ
- Q2 調べたいことを ギモンのことばにできますか? ☐
※ いつ?どこで?だれが?なにを?どのくらい?
どうして? などと つなげて考えてみよう!
- Q3 調べたいと思ったきっかけを お話しできますか? ☐
※ これがとっても大切! 親子で語り合うといいね
- Q4 じぶんなりの予想がありますか? ☐
※ 予想をもとに調べるよ
だから、予想がまちがっていてもだいじょうぶ
予想とちがうって、大発見だからそれも楽しいよ
- Q5 予想を確かめる方法(調べ方)を考えましたか? ☐
※ 「本」で調べること + 見る・聞く・やってみる等

ここまでの準備はOK?

特に大切なのは・・・ **調べたいと思ったきっかけ** (テーマをえらんだ理由とか動機ともいいます)「なんとなく気になって～」では、調べたいことがあいまいで、何をどうやって調べたらいいのか、途中でまいごになってしまいます。

自分の生活や学習の中に、「知りたいな」「不思議だな」「なんで？」と思ったきっかけはありませんか？「こんなとき、こうだったから、これを知りたいと思った」のようなエピソードがあると、「それから？」とどんどん深まりのある学習になっていきます。困ったときは、おうちの方に「どうして知りたいと思ったの？」「その何を知りたいの？」など、インタビューしてもらいながら、自分の「？」をはっきりさせていきましょう！

つぎに大切なのが・・・ **予想**すること

「調べる」というのは、「自分の予想をたしかめる旅」だからだよ。

5つのチェックができれば、さあ！調べていこう！

調べる編

Q1 知りたいことのキーワードを百科事典で確かめたかな？ ☐

*これだけで「？」の答えに満足するようなら、テーマを変えよう
だからどうなの？もっと知りたい！が見つかるといいね

Q2 使った資料を記録しているかな？ ☐

*この記録が、まとめのときの「参考・引用文献リスト」になるよ
調べるために使った本は、全部記録しようね！

Q3 もっと知りたい！ことを、自分の予想をもとに調べられたかな？ ☐

Q4 本は、2冊以上くらべて調べたかな？ ☐

*1冊だけでは、ほんとうかどうか確かめられないよ

Q5 本以外の方法（見学やインタビューやインターネットなど）で調べられたかな？ ☐

*見学するときやだれかに話を聞くときは、マナーを守ってね

Q6 調べたことを、いろいろな方法で確かめたかな？ ☐

*実際にやってみたり、作ってみたり、体験してみたり… 楽しもう！

調べてわかったこと編

Q1 いくつかの本で調べた記録（みつけたカード）と、自分の予想をくらべながら、自分の考えをまとめていますか？ ☐

Q2 まとめるときに 他人のことば（引用）と自分のことば（考え）を区別して書いていますか？ ☐

※ 引用するときの書き方は、次のページをみてね♪

引用するときの注意

*引用のルール（藤田節子，調べる学習作品づくりに役立つ引用のルール『図書館の学校』2022 年夏号）

- ① 元の文章は公開されたもの（著作物）である
- ② 自分の考えを裏付けるために、必然性のあるものである
- ③ 自分の文章と引用文を、はっきりと区別している
- ④ 自分の文が主（主役）であり、引用が従（必要最低限）である
- ⑤ 「 」内は、もとの文のままである

*調べる学習では・・・

- ① 引用するときには「 」を使って書き、「 」の後に（参考・引用文献リストの番号，著者（書いた人）または編者名，書名，発行所または出版社名，発行年，書かれていたページ）という出典を書きます。
- ② 文全体を書くのではなく、必要な部分だけを「 」内に書きます。
- ③ 同じ本から、いくつも引用する必要がある場合や、たくさんの参考資料を使う場合など、出典を（1—①，p.10）のように省略して書くこともあります。そのときには、参考・引用文献リストの番号と合わせることで、ページを正しく書くことが大切です。

例1）文の中に「 」引用を使う場合

大豆とえだまめは、色も形もちがうからちがう種類の豆だろうと予想してしらべたら、「えだまめが大豆になった」（1—②，八田尚子著，『まるごと えだまめ』，絵本塾出版，2016 年，p.10）と書いてあってびっくりした。いつの間にえだまめが大豆に変わるのだろうと思って別の本で調べてみたら、「若いときの大豆の実を、枝豆という」（1—③，こどもくらぶ編，『日本人の知恵を学ぼう すがたをかえる食べもの つくる人と現場① 大豆』，あすなろ書房，2020 年，p.9）とあり、えだまめが年を取って大豆になるということなのかな？若いときっていつまでなのかな？とふしぎに思った。えだまめがどうなったら大豆になるのか、もう少し詳しくしらべてみよう！

例2）なぜなら・どうしてかという を使って書く場合

大豆とえだまめは、色も形もちがうからちがう種類の豆だろうと予想していたけれど、調べて豆とえだまめは同じ豆だということがわかった。

どうしてかという、「えだまめが大豆になった」（1—②，p.10）と本に書いてあったからだ。別の本には、「若いときの大豆の実を、枝豆という」（1—③，p.9）と書いてあったので、豆の育つ時期によって、名前が変わるということもわかった。

参考・引用文献リスト 1（本）

作品名

あなたの名前：

NO.	著者名・ 編者名	しよめい 書 名	発行所名	発行年	図書館名 請求記号
①		総合百科事典 ポプラディア 第3版(10 巻)	ポプラ社	2021	茅野市図書館 J 031 ソ
②	八田尚子	まるごと えだまめ	絵本塾出版	2016	茅野市図書館 J 616 ハ
③	こども くらぶ編	日本人の知恵を学ぼう すがたをかえる食べ もの つくる人と現場① 大豆	あすなろ書房	2020	茅野市図書館 J 619 ス

ここまでよくがんばったね。あともうひといき！！

ノートやファイルにまとめていこう！

まとめの様式編

Q1 表紙にタイトル・学校名・学年・名前は書いてありますか？ ☐

*「タイトル」は 読む人が興味を持つようにくふうしよう
「タイトル ～テーマ～」とすると、より分かりやすいね

Q2 もくじはありますか？ *もくじをみると学習のながれがわかるよ ☐

Q3 1 ページの最初にも テーマ（疑問のことば）はありますか？ ☐

Q4 テーマをえらんだ理由（エピソード）はありますか？ ☐

Q5 調べたいことの予想はありますか？ ☐

Q6 調べる方法（研究計画）が、具体的に書いてありますか。 ☐

Q7 調べてわかったことが、「引用」と自分のことば（考え）を区別して書かれていますか？ ☐

Q8 本やインターネット、新聞や雑誌などから文章を引用した場合は、「 」の後ろに（ ）で出典が書いてありますか？ ☐

Q9 予想したことと、調べてみてわかったことを比べながら、自分の考えをまとめていますか。 ☐

Q10 テーマ＝予想＝わかったことがつながっていますか？ ☐

Q11 わかったことや自分の考えが、読む人にわかりやすいくふうをしていますか？ ☐

*図や自作のイラスト、アバターなどを使うと、わかりやすくなるよ。

Q12 写真を使っている人は、写真のすぐ下（近く）に撮影日、撮影した人、撮影場所を書いてありますか？ ☐

Q13 やって初めての感想は書いてありますか？ ☐

Q14 ページ番号は、本文からつけてありますか？ ☐

Q15 使用した資料の一覧（参考・引用文献リスト）はありますか？ ☐

Q16 参考にした資料は作品の後ろに付けてありますか？ ☐

要注意！！編

***参考文献、図やグラフ、写真資料の無断転用は禁止です。下記の点について、必ず、お子様と一緒に確認してください。**

写真を使った場合は

Q1 自分（もしくはお家の方）が撮影した写真ですか？ ☐

参考文献を引用した場合は

Q1 引用した文（他人のことば）には「 」をつけていますか？ ☐

Q2 「 」の後ろに（参考・引用文献リストの番号，著者名（編者名），書名，発行所または出版社名，発行年，引用したページ）を書いていますか？ ☐

参考・引用文献リストに書くときに

Q1 ホームページは（作成団体名，作成者名，ページのタイトル，アドレス
アクセス日）を書いていますか？ ☐

Q2 新聞や雑誌は（記事を書いた人，新聞・雑誌記事名，新聞・雑誌名（雑誌は
号数も），発行年月日，新聞は朝刊・夕刊の別，ページ）を書いていますか？
☐

資料を要約して使っている場合は

Q1 要約した文に、自分のことばや考えが混ざっていませんか？ ☐

Q2 要約した資料についても、引用と同じように
出典が正しく書かれていますか？ ☐

※資料や使い方によっては利用許諾申請が必要な場合があります。

奥付などをご確認ください。（無断転用禁止の表示があったら、必ず出版社に連絡をし、許諾をいただってください。特に、図鑑や百科事典、写真・図表を使いたいときには、許諾が必要な場合が多いです。ご注意ください。）

もくじ のつけ方（例）

＊青字のところは、テーマやわかったことから生まれる新しいギモンによって、一人一人ちがいます。新たに生まれるギモンから、こんなふうに深めていくんだな～という参考にしてくださいね。

「牛さんに感謝！～ 牛乳はどうして白いの？ ～」

～もくじ～

1	テーマ「牛乳はどうして白いの？」	1
2	テーマをえらんだ理由	1
3	予想	1
4	調べ方（研究計画）	2
5	調べてわかったこと	
	（1）白い血？	3
	（2）牛乳を作れるのはお母さんだけ？	4～7
	（3）牛乳は栄養のかたまりだ！	8～11
	（4）色々な牛乳～あじくらべ～	
	こんなにあった！いろんな牛乳	12～17
6	スペシャルインタビュー ～八ヶ岳乳業さん～	18～20
7	結果 私が思ったこと、考えたこと	21～24
8	調べる学習全体を通しての感想	25～26
9	参考・引用文献リスト	
10	参考資料	

自分の予想をもとに調べたいことがいくつかあるときや、調べているうちに新しい「？」が生まれてきたときは、こんなふうに小項目をつくるとまとめやすくなりますよ。

本やインターネットなどで調べたことを、見学やインタビュー、実験や観察などで確かめたら、どんなふうに確かめたか、わかるように書こう。